

令和4年度春季本部審査会・講習会の開催要項

1 春季講習会

(1) 日 程

令和5年3月11日(土) 午前・午後

(2) 会 場

ALSOKぐんま武道館 大道場：三段

第2道場：四段・五段・錬士・教士

(3) 受講資格

- ・ 群馬県剣道連盟登録会員(以下群剣連登録会員という)であること。
- ・ 3月12日開催の春季本部審査会に申し込んだ者

※ 他都道府県から越境受審はできないが、大学生で帰省地が群馬県の者は受審できる。

(4) 講習会実施要項

別添1「群剣連春季講習会実施要項」のとおり。

2 春季審査会

(1) 日 程

令和5年3月12日(日)

(2) 会 場

ALSOKぐんま武道館 大道場

(3) 受審資格

- ・ 群剣連登録会員であること。
- ・ 3月11日開催の「群剣連春季講習会」を受講した者
- ・ 高校生は原則在住している支部を通じて申し込むこと。

但し、「前段の免状のコピー」を添付して申し込めば、学校所在地支部からも推薦を受け受審することができる。

※ 他都道府県から越境受審はできないが、大学生で帰省地が群馬県の者は受審できる。

(4) 審査実施要項

別添2「群剣連春季審査会実施要項」のとおり。

3 申込み要領

- (1) 受審希望者は、各所属支部へ各所属支部締切日までに申し込むこと。
- (2) 前段を他都道府県連盟で取得した者は、前段の免状のコピー(A4)もしくは、段位取得証明書のコピーを添えて申し込むこと。
- (3) 群剣連登録会員でない者は、支部を通じて申込時に入会金2千円を納入し、併せて「群馬県剣道連盟登録会員申込書」に必要事項をもれなく記載し、群馬県剣道連盟事務局宛メール報告をすること。
- (4) 受審料等の納入

各支部は受審者から次の受審料を取り纏め、群馬県剣道連盟宛振込むこと。

段 位	金 額 (講 習 会 費 含)
三段	21,400円
四段	27,000円
五段	36,000円
錬士	25,000円
教士	30,000円

- (5) 申込締切

各所属支部の締切日を確認すること。

受審料返金のキャンセルは、講習会前日までとする。

4 留意事項

別添3「群剣連講習会及び審査会における留意事項」を熟読し、誤りのないようお願いいたします。

別添 1

群剣連春季講習会実施要項

1 講習会日時

令和 5 年 3 月 1 1 日(土)

開 館 午前 9 時 ALSOK ぐんま武道館正面玄関から入場

講習会 午前 9 時 5 0 分から午後 3 時ころまでの予定

2 受付時間

午前 9 時 2 0 分から午前 9 時 5 0 分まで

3 会場

ALSOK ぐんま武道館 大 道 場 : 三段

第 2 道場 : 四段・五段・錬士・教士

4 講師

群馬県剣道連盟指定講師

5 講習内容

日本剣道形 三段受審者 太刀 7 本

四段・五段・錬士・教士受審者 太刀 7 本、小太刀 3 本

6 持ち物

剣道具一式、面マスク、マウスガード、木刀、学科問題解答

群剣連健康状態申告書（1 週間の検温記入）、弁当、スポーツドリンク

※学科問題は各支部に配布済みであるが、群馬県剣道連盟ホームページからもダウンロードできる。

7 その他

新型コロナウイルス感染症感染拡大により、群馬県の警戒レベルが現段階より引き上げられた場合には、中止又は延期となることもあり、その際、各支部に通知するとともに、群馬県剣道連盟ホームページに掲載する。

8 留意事項

別添 3「群剣連講習会及び審査会における留意事項」を熟読し、誤りのないようお願いいたします。

別添 2

群剣連春季審査会実施要項

1 審査日時

令和 5 年 3 月 1 2 日(日)

開 館 午前 9 時

ALSOK ぐんま武道館正面玄関から入場

審 査 午前 1 0 時開始予定

2 受付時間

午前 9 時 2 0 分から午前 9 時 5 0 分まで

3 会場

ALSOK ぐんま武道館 大 道 場

4 受審資格及び申込対象者

群剣連登録会員であり、全日本剣道連盟称号・段位審査規則に基づく資格を有している者

三段：二段受有後 2 年以上修行した者

四段：三段受有後 3 年以上修行した者

五段：四段受有後 4 年以上修行した者

錬士：(1) 六段受有者で、六段受有後 1 年以上を経過（令和 4 年 5 月 31 日以前に取得）した者（剣道称号・段級位審査規則第 11 条）

(2) 五段受有者で五段受有後 10 年以上を経過（平成 25 年 5 月 31 日以前に取得）し、かつ、年齢 60 歳以上の者

※五段受有者で地方代表団体（群馬県剣道連盟）の選考において、第 10 条第 1 項の基準（錬士は、剣道に錬達し、識見優良なる者）に達していると認められ、特に地方代表団体の長から推薦された者は、前項第 1 号の規定にかかわらず、錬士の称号を受審することができる。

なお、前記 (2) の特例で推薦を希望する者がいる支部は、支部長が別記様式 1「錬士候補者推薦書」を作成し、2 月 2 3 日（木）必着で群馬県剣道連盟事務局を経て報告すること。

教士：錬士七段受有者で 7 段受有後 2 年を経過している者

5 実施方法

全日本剣道連盟称号・段位審査規則・細則並びに同実施要領による。

6 審査科目

(1) 実技

必ず面マスク、マウスガードを着用

(2) 日本剣道形

実技審査に合格した者のみ。必ず面マスクを着用

(3) 学科

各支部に配布の学科試験問題の解答を3月11日の春季講習会受付時に提出する。

※学科試験は手書きによる自筆とする。パソコン不可、コピー不可

※学科問題は各支部に配布済みであるが、群馬県剣道連盟ホームページからもダウンロードできる。

7 持ち物

剣道具一式、面マスク、マウスガード、竹刀、木刀、スポーツドリンク、
群剣連行事参加者チェック票（審査会用）

8 その他

新型コロナウイルス感染症感染拡大により、群馬県の警戒レベルが現段階より引き上げられた場合には、中止又は延期となることもあり、その際、各支部に通知するとともに、群馬県剣道連盟ホームページに掲載する。

9 留意事項

別添3「群剣連講習会及び審査会における留意事項」を熟読し、誤りのないようお願いいたします。

別添 3

群剣連講習会及び審査会における留意事項

- 1 以下に該当する者は受審できない。
 - (1) 基礎疾患のある者
 - ・基礎疾患のある者とは、「糖尿病、心不全、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方など」
 - ・これらの者が理由あって受審する場合は、主治医の承認を得るものとする。
 - (2) 発熱のある者（個人差があるが、一般的には37.5度以上ある者をいう。）
 - (3) 咳・咽頭痛など風邪のような症状がある者、その他体調がよくない者
 - (4) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - (5) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- 2 講習会・審査会日に自宅等で検温を行い、受審者全員が「群剣連健康状態申告書」（講習会用）、「群剣連行事参加者チェック票」（審査会用）に必要事項を記載すること。

「群剣連健康状態申告書」（講習会用）「群剣連行事参加者チェック票」（審査会用）は、ALSOK ぐんま武道館入館時での受付時に提出すること。

なお、本人確認のため身分証明書の提示を求められる場合がある。
- 3 学科は、事前に学科問題解答用紙に記入し、講習会の3月11日に受付時に提出すること。
- 4 自宅から会場との往復の際及び会場内では必ずマスクを着用する。
- 5 受付時等、係員の誘導に従い2メートル以上の間隔をとって並ぶこと。
- 6 予め剣道着、袴を着用して来場し、なるべく更衣室は使用しないこと。

やむを得ず更衣室を使用する場合は、係員の指示に従い、最大使用25人を厳守すること。
- 7 剣道着、袴に高校名などの大きな文字が書かれている物は使用しない。
- 8 見学者及び付き添い等は入場できない。
- 9 入場口等にアルコール消毒液が設置してあるので、手指消毒を励行する。
- 10 待機場所は大道場になるので、係員の指示に従い、剣道具一式及び木刀を携行し指定された場所で待機し、フィジカルディスタンスをとること。
- 11 トイレの使用方法

トイレの使用は、密接、密集を避けるための措置に従うこと。

便座を使用した場合は蓋を閉めてから流すこと。
- 12 審査当日、大道場での受付にて受審番号を付与する。

- 13 講習会では観覧席を昼食場所とし、原則、武道館からの外出は禁止する。
- 14 熱中症対策等の飲み物は各自が準備し、ゴミは必ず持ち帰ること。
- 15 実技及び日本剣道形審査では必ず面マスクは鼻が出ないように着用し、待機中は面マスク又は家庭用マスクを着用すること。
- 16 受審会場には各組の面着装場所を指定する。
- 17 実技審査を終えた者は、面を装着した場所で待機すること。
- 18 形審査の方法は当日説明する。
- 19 実技及び形審査の合格発表方法は当日説明する。
- 20 剣道形の再受審者は、審査申込書の右上枠外に「剣道形再審査」と記載し申請すること。
- 21 審査会終了後1週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- 22 参加者の個人情報（登録県名、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等）は群馬県剣道連盟および全日本剣道連盟が行事運営のために利用する。なお、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせた公表媒体（掲示用紙、ホームページ等）に公表することがある。更に、普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

剣道称号「教士」審査会要項

全日本剣道連盟
群馬県剣道連盟

1. 申込対象者

剣道錬士七段受有者で、七段受有後2年以上を経過（令和3年5月31日以前に取得）した者。

2. 申込方法

- (1) 受審希望者は、所定の教士受審申請書に小論文（いずれも手書きによる自筆、パソコン不可、顔写真貼付）を添え、都道府県剣道連盟に提出する。
- (2) 年齢基準日は、審査当日（5月6日）とする。

3. 都道府県剣道連盟の推薦

- (1) 申込者が提出した、教士受審申請書と小論文を受理する。
- (2) 都道府県剣道連盟会長は、申込者が称号・段級位審査規則第10条第2号の付与基準に該当し、かつ、称号・段位審査実施要領の「教士を受審しようとする者の備えるべき要件」(①～③)を満たしていると認めた場合、全剣連会長に候補者として推薦する。
- (3) 推薦方法は、候補者推薦書を作成して、受理した受審申請書と小論文（封印のまま）を添えて下記あてに送付する。

〒371-0047 群馬県剣道連盟

前橋市関根町3-27-12 TEL/FAX 027-235-0870

4. 申込締切 **各所属支部の締切日を確認すること。**

5. 審査の方法

この度、新型コロナウイルス感染症拡大防止や被害の減少に協力するため、試験会場での称号教士筆記試験を中止し、下記の通り課題に対する小論文提出の形式で実施し、小論文を採点のうえ審査会に付議して合否を決定する。

課題・書き方および提出方法

- (1) 剣道の課題 「剣道指導者としてのあり方」
※再受審者についても上記課題の小論文を提出すること。
- (2) 字数 800字以上1,200字以内
- (3) 用紙 400字詰め原稿用紙（市販のB4縦書き）
- (4) 書き方 用紙1～3行目に表題と登録都道府県・氏名を記し、4行目2段目より書くこと。必ずボールペンまたは万年筆を使用すること。原稿用紙の右上をホチキスで止めること。
- (5) 提出方法 封筒長3を使用し、表に「剣道称号教士受審」、裏に登録都道府県と氏名を表記し封印したものを登録剣道連盟へ提出すること。

6. 群馬県剣道連盟推薦要件

受審者は、3月11日（土）12日（日）に実施する剣道講習会および審査会の参加を必須とします。

7. 審査会期日 令和5年5月6日（土）

8. 審査料

各支部事務局は、推薦と同時に全剣連審査料（含む消費税）1名につき30,000円を群馬県剣道連盟口座に一括して振込むこと。

9. 合格発表

審査終了後、合格者決定通知と証書を合格者の登録都道府県剣道連盟に送付するほか、後日、全剣連月刊「剣窓」令和5年6月号および全剣連ホームページ(<https://www.kendo.or.jp/>)に合格者の氏名を掲載する。

10. 個人情報保護法への対応

※ 以下を周知して下さい。

申込書に記載される個人情報（登録県名、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等）は、全日本剣道連盟および地方代表団体（各都道府県剣道連盟）が実施する本審査会運営のために利用する。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体（掲示用紙、ホームページ、剣窓等）に公表することがある。更に、普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

剣道称号「錬士」審査会要項

全日本剣道連盟
群馬県剣道連盟

1. 申込対象者

- (1) 剣道六段受有者で、受有後1年以上を経過（令和4年5月31日以前に取得）した者。
- (2) 剣道五段受有者で、受有後10年以上を経過（平成25年5月31日以前に取得）し、かつ、年齢60歳以上の者（称号・段級位審査規則第11条2項による特例）。

※五段受有者で地方代表団体（群馬県剣道連盟）の選考において第10条第1項の基準（錬士は、剣道に錬達し、識見優良なる者）に達していると認められ、特に地方代表団体の長から推薦された者は、前項第1号の規定にかかわらず、錬士の称号を受審することができる。

2. 申込方法

- (1) 受審希望者は、所定の錬士受審申請書に小論文（いずれも手書きによる自筆、パソコン不可）を添え、都道府県剣道連盟に提出する。
- (2) 年齢基準日は、審査当日（5月6日）とする。

3. 小論文の内容

- (1) 課題 平成19年3月14日制定の「剣道指導の心構え」の要点を記し、それを踏まえたうえであなたの剣道修業について述べなさい。
- (2) 字数 400字以上800字以内。
- (3) 用紙 400字詰め原稿用紙（市販のB4縦書き）用紙1～4行目に表題と登録都道府県・氏名を記し、5行目2段目より書くこと。必ずボールペンまたは万年筆を使用すること。（鉛筆またはシャープペンシル不可）2枚の原稿用紙は右上ホッチキスで止めること。（凡例参照）
- (4) 提出 封筒長3（長さ23.5cm・幅12cm）の表に「剣道称号錬士受審」、裏に登録都道府県と氏名を表記のうえ、封印すること。

4. 申込締切 各所属支部の締切日を確認すること。

5. 都道府県剣連の推薦

- (1) 都道府県剣道連盟会長は、申込者が規則第10条第1号の付与基準に該当し、かつ、実施要領の「錬士を受審しようとする者の備えるべき要件」（①～③）を満たしていると認められた場合、全剣連会長に候補者として推薦する。なお規則第11条第2項の特例による推薦は特に厳選のこと。
- (2) 推薦方法は、候補者推薦書を作成して、受理した受審申請書と小論文（封印のまま）を添えて下記あてに送付する。

〒371-0047 群馬県剣道連盟

前橋市関根町3-27-12 TEL/FAX 027-235-0870

6. 群馬県剣道連盟推薦要件

受審者は、3月11日（土）12日（日）に実施する剣道講習会および審査会の参加を必須とします。

7. 審査の方法

(1) 小論文の審査

課題に対して適切な内容でまとめられているか、剣道に対する受け止め方と文章の表現能力等について審査を行う。

(2) 審査会による審査

小論文を採点のうえ審査会に付議して合否を決定する。

8. 審査会期日 令和5年5月6日（土）

9. 審査料

各支部事務局は、推薦と同時に全剣連審査料（含む消費税）1名につき、25,000円（講習会費含む）を群馬県剣道連盟口座に一括して振込むこと。

10. 合格発表

審査終了後、合格者決定通知と証書を合格者の登録都道府県剣道連盟に送付するほか、後日、全剣連月刊「剣窓」令和5年6月号および全剣連ホームページ(<https://www.kendo.or.jp/>)に合格者の氏名を掲載する。

11. 個人情報保護法への対応

※ 以下を周知して下さい。

参加者の個人情報（登録県名、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等）は、全日本剣道連盟および地方代表団体（各都道府県剣道連盟）が行事運営のために利用する。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体（掲示用紙、ホームページ、剣窓等）に公表することがある。更に、普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

県整理No

剣道・居合道・杖道 審査申込書

審査会場	審査日	全剣連整理番号	氏名	生年月日	審査日当日年齢
			(フリガナ) 男・女 (旧姓)	大・昭・平 年 月 日	満 歳
職業又は学校名・学年		〒	電話 ()		
		現住所			
現有段位	剣道 居合道 杖道	段	段位受領年月日	昭和・平成・ 令和	年月日
現有称号	剣道 居合道 杖道	錬士	錬士受領年月日	昭和・平成・ 令和	年月日
受審段位	剣道 居合道 杖道	段	(経歴)		
受審称号	剣道 居合道 杖道	士			

群馬県剣道連盟会長 殿

令和 年 月 日

上記申し込みます。

氏名

印

- ※ 注
1. 推薦支部長の署名捺印なきものは受けません。
 2. 数字は算用数字で、フリガナはカタカナを使用してください。
 3. 関係するところすべてを楷書で正確に記入してください。
 4. 旧姓は前段位取得以降姓が変わった者のみ記入してください。
 5. 令和3年7月よりこの全国審査の申込みはこの申込書を使用してください。

推薦支部長

印

申請番号

全剣連称号・段位様式第 4 号
令和 年 月 日

※都道府県剣道連盟で記入する。
※申請番号は若年順に記入する。

- ①. 剣道
- 2. 居合道
- 3. 杖道

教士 受審申請書(本人用)

※ 試験会場

※該当するもの○印をする。

※社会体育上級認定者(追認者除く)は
上記試験会場の記入は不要

(申請都道府県剣道連盟) 群馬県 剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段位審査規則[第11条第1項]に基づき、
剣道 教士を審査いたしたく下記申請いたします。

記

フリガナ

フリガナ

1 受審者氏名

(旧姓)

2 生年月日

年	月	日生	年齢 満 歳
---	---	----	--------

3 性別

男 ・ 女

4 取得称号・段位
取得年月
登録県名

称号	錬士	段位	段
年 月		年 月	
登録県名		登録県名	

顔写真を貼って
から提出してく
ださい
(3cm×4cm)

5 全剣連番号

6 住所

7 電話番号

	携帯番号
--	------

8 職業

現職	前職
----	----

※出来るだけ具体的にお書きください(無職の方は前職を記入)

9 全剣連社会体育
上級認定月

平成 年 月 認定

※上級認定者のみ記入

[剣歴] ※居合道は居合道歴、杖道は杖道歴を記入する

申請番号

全剣連称号・段位様式第 5 号
令和 年 月 日

※都道府県剣道連盟で記入する。
※申請番号は若年順に記入する。

- ①. 剣道
- 2. 居合道
- 3. 杖道

錬士 受審申請書(本人用)

※該当するもの○印をする。

(申請都道府県剣道連盟)

群馬県

剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段位審査規則[第11条第1項]に基づき、
剣道 錬士を審査いたしたく下記申請いたします。

記

フリガナ

フリガナ

1 受審者氏名

(旧姓)

2 生年月日

年	月	日生	年齢	満	歳
---	---	----	----	---	---

3 性別

男 ・ 女

4 取得称号・段位

段 位	段
年	月
登録県名	

取得年月

登録県名

5 全剣連番号

6 住所

7 電話番号

携帯番号

8 職業

9 全剣連社会体育

中級認定月

平成	年	月	認定
----	---	---	----

※認定者のみ記入

別記様式1

令和 年 月 日

群馬県剣道連盟
会長 小林一隆 様

支部

支部長

印

剣道錬士候補者推薦書

今般、下記の者を全日本剣道連盟称号・段級位審査規則〔第11条第2項（五段受
有者）〕に基づき錬士候補者として特に推薦いたしますので、審議願います。

フリガナ 氏名 生年月日	年 月 日満 歳	全剣連番号 性別 男・女	職業
本籍			連盟役員
現住所	〒		最終学歴
五段取得 年月日	年 月 日	五段取得 剣道連盟	
職歴			
剣歴			
斯道への功績			
剣連認定講習会実績			

推薦の特別な理由

◎楷書・箇条書で正確にこの用紙内に記入してください。

健康状態申告書(群馬県剣道連盟用)

本部審査会講習会 3 / 11用

氏名				現住所			
携帯番号				自宅電話番号			
年齢				所属支部			
日付	体温	発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状	頭痛、下痢、結膜炎、嗅覚味覚障害	感染の流行地域への14日以内の訪問歴	新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触	同居家族や身近な知人に感染が疑われる者がいるか	基礎疾患について (糖尿病・心不全・免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている)
3月4日(土)		あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
3月5日(日)		あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
3月6日(月)		あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
3月7日(火)		あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
3月8日(水)		あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
3月9日(木)		あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
3月10日(金)		あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
3月11日(土)		あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
新型コロナワクチン接種状況確認 (確認チェックは任意です)		<input type="checkbox"/> 1回接種済 <input type="checkbox"/> 2回接種済		<input type="checkbox"/> 3回接種済 <input type="checkbox"/> 4回接種済		<input type="checkbox"/> 接種していない	
誓約		記載事項に間違いはありません。 本人署名					

※1 収集した個人情報は、目的達成のために利用し、法令に基づく場合または本人同意がある場合を除き、他に利用及び提供することは致しません。

2 参加者に感染者が出た場合は、保健所等からの聞き取り調査への協力をお願いします。

3 濃厚接触者となった場合は、5日間を目安に自宅待機をお願いすることがありますので予めご了承ください。

4 参加者には、7日間を目安に1日1～2回程度、発熱の有無の確認をお願いします。

5 PCR検査等を受診した場合には、必ず群馬県剣道連盟への連絡をお願いします。

6 家族、近親者、濃厚接触者に新型コロナウイルス感染者がいた場合にも、必ず群馬県剣道連盟へ連絡をお願いします。

群馬県剣道連盟 ☎ : 027-235-0870

群剣連行事参加者チェック票

令和 年 月 日

①	所属 支部		
	住所		
	氏名		
	連絡先		
②	受付時の体温 度		
③	当日の自宅等での検温	なし	あり
④	体温が37.5度以上	ある	ない
⑤	基礎疾患について 糖尿病、心不全、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方	ある	ない
⑥	⑤であると答えた方 主治医の承認について 主治医名 _____	ない	ある
⑦	咳、咽頭痛など風邪のような症状	ある	ない
⑧	体調について	悪い	良い
⑨	同居の家族や身近な知人に感染が疑われる方が	いる	いない
⑩	過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合	ある	ない
⑪	面マスクの持参	なし	あり
⑫	家庭用マスクの着用	なし	あり

受付者

令和4年度春季剣道昇段審査三段学科問題解答用紙

() 支部 氏名 ()

1 剣道と各種スポーツを比較しながら、「剣道の特性」について述べなさい。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2 「正しい鍔ぜり合い」について説明しなさい。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

3 「打突の好機」について説明しなさい。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

- ※ 問題1、2、3は行を埋めるように自筆で書くこと。コピー・パソコン等は不可。
- ※ 解答用紙は、この用紙（A4）を使用し講習会の日受付に提出すること。

令和4年度春季剣道昇段審査四段・五段学科問題解答用紙

()支部 受審段位()段 氏名()

1 「剣道修錬の心構え」について述べなさい。

.....
.....
.....
.....
.....

2 「正しい鍔ぜり合い」について説明し、「指導上の留意点」を述べなさい。

.....
.....
.....
.....
.....

3 「虚実」について説明しなさい。

.....
.....
.....
.....
.....

- ※ 問題1、2、3は行を埋めるように自筆で書くこと。コピー・パソコン等は不可。
- ※ 解答用紙は、この用紙（A4）を使用し講習会の日を受付に提出すること。